

腎友さがみはら

腎友会ニュース 第141号

相模原市

発行日：平成28年3月27日

責任者：羽田 弥

相模原市南区南台 2-8-1-301 TEL042(748)3773



ふれあい作品展 10 位植物画「カンアオイ他 2 点」

橋本みなみ内科本院 菊池原 静さん

目次

- | | |
|---|----------------------------------|
| ・ 障害者差別解消推進フォーラムが開催される 2 | ・ 活動日誌 6 |
| ・ NPO 法人れんきよう主催の市長との懇談会
並びに福祉施策懇談会が開催される 3 | ・ 災害関連情報 7 |
| ・ 透析患者数実態調査まとまる
～相模原市及びその周辺地区～ 4・5 | ・ 新規入会者のご紹介 8 |
| ・ ちょっといい話 5 | ・ 「青い鳥はがき」ありがとうございます 8 |
| | ・ 行事予定のお知らせ 8 |

障害者差別解消推進フォーラムが開催される

去る1月24日の日曜日に、相模原市が主催の「障害者差別解消推進フォーラム」をNPO法人れんきょうが委託をうけて、あじさい会館ホールで、183名の来場者を迎え、盛会裡に開催しました。

ご存知のとおり、来る4月1日より「障害者差別解消法」が施行されます。この法律は、障がいがある人に対する「障害を理由とする差別」をなくすための決まりごとを定めたもので、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人がお互いの人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会をつくることを目的としています。NPO法人れんきょうは、この法律の趣旨を広く知ってもらうための啓発活動に従来から取り組んでおり、昨年3月29日にはNPO法人れんきょう主催により、「障害者差別解消法を知ろう！」のテーマでの講演会を開催しました。今回は、「障害者差別解消推進フォーラム」と銘打って、基調講演とパネルディスカッションを行いました。当日は、「障害者に対する合理的配慮とは？」のテーマでの基調講演を毎日新聞社論説委員で、内閣府障害者政策委員会委員である野澤和弘先生にお願いし、パネラーとしてはこの法律に関係する各分野の方々、障がい当事者、医師会の先生、事業者、障がい者雇用に関連することから公共職業安定所の所長、学校教育に携わる市職員及び障がい福祉に携わる市職員の6名が参加しました。

基調講演で野澤先生からは、障がい者に対する差別そのものについてはもとより障がい者に対して合理的配慮をしなければならないこと、その合理的配慮とはどういうことかなどについて丁寧な説明がありました。この法律で謳われている障がい者に対する合理的配慮とは、障がいのある人から何らかの配慮を求める意思表示があった場合に、負担になりすぎない範囲で「社会的障壁」を取り除くことです。「社会的障壁」は障がいのある人にとって日常生活・社会生活を送るうえで障壁となる様々なもので、野澤先生からは『大学には入学できたが大学にエレベーターがなくて教室まで行けない、車いす用トイレがない』『ある店では「障がい者もどうぞ」と言われるが、階段や段差があり店に入れない』『知的障害が選挙に行っても、候補者名の漢字が読めないために投票できない』などのいろいろな事例の説明がありました。

パネルディスカッションでは、各パネラーから障害者差別解消に向けて、現在取り組んでいること及び今後取り組もうとしていることなどについてを含めた意見交換が行われました。障がい当事者からは、障がい者に対する合理的配慮は障がいの種類によって方法が違う、合理的配慮を行うにはそれぞれの障がいの特性を良く知っておくことが必要であるとの意見が出されました。ごもっともだと思いました。

その後、会場から質問がいくつかあり、午後1時30分から4時50分まで大変充実した有意義な時間であったと思います。ただ、来場者リストを見たとき、この法律の対象である事業者の皆さんの来場が大変少なかったのは残念であり、今後事業者の皆さんへ周知・啓発が課題であると考えます。

(羽田記)

NPO 法人れんきょう主催の市長との懇談会 並びに福祉施策懇談会が開催される

去る 1 月 28 日には市長との懇談会が、また去る 2 月 7 日には福祉施策懇談会が、相模原市腎友会が加盟している NPO 法人れんきょうの主催で行われました。

これに先立ち、NPO 法人れんきょうは、昨年 11 月に市内の 29 の障がい児者福祉団体にアンケートを行い、現在抱えている課題、そしてそれらの課題を解決するための市行政への要望・提案を聴取しており、その要望・提案を「会の運営・活動」「就労」「外出・移動」「防災」「医療」「福祉」「社会参加」「教育」の 8 分野に分類・要約しております。

市長との懇談会では、NPO 法人れんきょうの鈴木会長以下三役と市側から加山市長、梅沢副市長、和光健康福祉局長、青木福祉部長、河崎障害政策課課長他が出席し、当方から前述のアンケート結果のエッセンスを、特に、障がい者団体は、昨今入会者が少なく、また加入者の高齢化などで、活発な活動が損なわれている、市行政として、障がい者に対しての各団体の存在 PR を、並びに市の関係の駐車場などの利用料の障がい者減免を要望しました、また、学校教育の現場で、子供たちにの障がい者に対する認識・理解を深める教育の強化についてもお願いしました。

福祉施策懇談会は、市行政側から、和光健康福祉局長、青木福祉部長以下関係の課長など 12 名が、障がい者団体側からは市内の 15 団体 24 名が出席しました。相模原市腎友会からは、柴崎役員と羽田が出席しました。まず、前述のアンケート結果の 8 つの分野に整理した各提案・要望に対しての市行政の見解・回答の説明をいただき、その後活発な意見交換が行われました。私達透析者に関連することとしては、「重度障害者医療費助成制度」いわゆるマル障並びに「相模原市障害者等福祉手当」について継続をお願いしておりましたが、これについて来年度は現行の形で継続するとの回答を得ました。また、透析者の通院に対する財政的支援としてタクシー券の増額をお願いしましたが、これについては全体の福祉施策の見直しの際に検討するとの回答でした。

私達障がい者団体が抱える課題・問題等について、市行政に知って貰い、行政施策に反映して貰う為の、こういう懇談会は貴重であると考えます。そして、障がい者の福祉の向上が進むことを期待します

(羽田記)

透析患者数実態調査まとまる ～相模原市及びその周辺地区～

隔年に行っています透析患者数実態調査（平成 27 年 12 月末時点）の結果がまとまりました。調査にご協力いただいた透析施設は、次の通りです。ご協力有難うございました。

＜相模原市 17 施設＞

相模原市には 12 月末現在で 18 の透析施設がありますが、そのうち、1 施設、地域医療機構相模野病院がご協力をいただけませんでした。次の 17 の施設のご協力をいただきました。

相原病院、JA 相模原協同病院、橋本みなみ内科本院、橋本クリニック、相模原クリニック、
第二相模原クリニック、渕野辺総合病院、阪クリニック、森下記念病院、東芝林間病院、
さがみ循環器クリニック、北里大学病院、さがみ松が枝クリニック、相模原赤十字病院、
広瀬病院、麻溝じんクリニック、相模大野内科・腎クリニック

＜周辺地区 7 施設＞

周辺地区で対象として 8 透析施設のうち相武台病院（座間市）にはご協力をいただけませんでした。次の 7 施設にご協力をいただきました。

相武台ニーレンクリニック（座間市）、相模台病院腎センター（座間市）、
腎健クリニック（海老名市）、海老名クリニック（海老名市）、あけぼの病院（町田市）
中央林間じんクリニック（大和市）、中央林間病院（大和市）、

調査結果の概要は以下の通りです。

＜患者数＞

単位：人

	相模原市 18 施設			周辺 8 施設			総合計		
	H27 年	H25 年	増減	H27 年	H25 年	増減	H27 年	H25 年	増減
相模原市在住	1,545	1,475	+70	134	136	△2	1,679	1,611	+68
市外在住	424	465	△41	907	699	+208	1,331	1,164	+167
合計	1969	1,940	+29	1,041	835	+206	3,010	2,775	+235
内 CAPD	10	10	0	0	0	-	10	10	0

注 1) H27 年数値について地域医療機構相模野病院は H25 年数値並びに相武台病院は H23 年数値です。

注 2) H25 年数値には、相模原あじさいクリニックの 14 名が含まれています。

注 3) 周辺 8 施設には、あけぼの病院（町田市）が含まれており、今回は、旧第 1 あけぼの病院、旧第 2 あけぼの病院の合計患者数となっています。

<年代別構成比と平均年齢>

患者数単位：人

		20 歳 未 満	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 以 上	計	平均 年 齢 推 定
男性 除くCAPD	患者数		9	64	189	338	589	528	243	1960	65.2
	構成比		0.5%	3%	10%	17%	30%	27%	12%	100%	歳
女性 除くCAPD	患者数		3	17	68	124	300	309	154	975	67.7
	構成比		0.3%	2%	7%	13%	31%	32%	16%	100%	歳
小計 除くCAPD	患者数		12	81	257	462	889	837	397	2935	66.0
	構成比		0.4%	2.8%	8.8%	15.7%	30.3%	28.5%	13.5%	100%	歳
CAPD	患者数	2	2		2	1	1	1	1	10	45.0
	構成比	20%	20%		20%	10%	10%	10%	10%	100%	歳
総合計 含むCAPD	患者数	2	14	81	259	463	890	838	398	2945	65.9
	構成比	0.1%	0.5%	3%	9%	16%	30%	28%	14%	100%	歳

注1) 地域医療機構相模野病院及び相武台病院は除く。

注2) 平均年齢推定は年代別構成比により理論計算したもの。

(羽田記)

「ちょっといい話」

“世界のホンダ”を一代で築いた創業者の本田宗一郎氏。学校の授業が嫌いで、正規の学校教育をあまり受けなかった氏は、自分で実際に見て聞いて試して、技術を身につけた▼氏の左手は、右手で握ったハンマーに叩かれ、怪我の無い指はないほど傷だらけだった。80歳を超えてからも、熱気球やハンググライダーに乗るなど“挑戦の心”を燃やし続けた。

『わが友本田宗一郎』井深大著、ごま書房新社

超一流の選手は、参考にしたい逸話に事欠かない。米大リーグのイチロー選手は、新たなシーズンに臨む際、「首位打者になる」といった目標は立てないという。首位打者になるかどうかは相手のあること。打率よりも安打数にこだわり、1試合、1打席を積み重ねる野球人生を歩んでいる▼野球だけでなく、人生でも“相手がどうか”に気をもむよりも、“自分がどうあるべきか”に行動の規範、目標を据えた時、進むべき方向が明確となろう。

活 動 日 誌

※ 1 氏名は参加者を示します。順不同です。

※ 2 「NPO法人れんきょう」或いは「連協」は、相模原市腎友会が加盟している「特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会」を示します。

12 / 27 (日) 腎友さがみはら 140 号発行

館盛、稲田、北村、宅田、小久保、工藤、平野、加賀谷、柴崎、羽田

01 / 06 (水) NPO法人れんきょうだい第6回理事会 柴崎、羽田

01 / 08 (金) 情報発信体制整備検討委員会 (NPO法人れんきょう) 羽田

01 / 15 (金) さがみはら市民健康づくり会議幹事会 工藤

01 / 15 (金) 内閣府主催障害者差別解消に関するフォーラム (NPO法人れんきょう) 羽田

01 / 17 (日) 県腎友会 40 周年記念事業企画委員会 平野

01 / 17 (日) 新成人を祝う会 (NPO法人れんきょう) 羽田

01 / 17 (日) 県腎友会広報委員会 石亀

01 / 24 (日) 障害者差別解消推進フォーラム (NPO法人れんきょう)

稲田、宅田、工藤、加藤、柴崎、羽田

01 / 24 (日) 県腎友会理事会 館盛、平野、加賀谷

01 / 28 (木) 市長との懇談会 (NPO法人れんきょう) 羽田

02 / 04 (木) 医師会機関紙「健康さがみはら」モニター会議 (NPO法人れんきょう) 羽田

02 / 05 (金) 福祉有償運送運営協議会 (NPO法人れんきょう) 羽田

02 / 07 (日) 福祉施策懇談会 (NPO法人れんきょう) 柴崎、羽田

02 / 10 (水) 福祉有償運送運営協議会研修会 (NPO法人れんきょう) 羽田

02 / 13 (土) 失語症研修会 (NPO法人れんきょう) 羽田

02 / 15 (月) 障害者自立支援協議会研修会 (NPO法人れんきょう) 羽田

02 / 21 (日) 第202回役員会 館盛、加賀谷、平野、中丸親子、

石亀、北村、石田、柴崎、工藤、関口、小久保、稲田、羽田

02 / 24 (水) 障害者自立支援協議会 (NPO法人れんきょう) 羽田

02 / 28 (日) 県腎友会組織拡大委員会 館盛、加賀谷

02 / 28 (日) 神奈川県議会議員てらさき雄介新春の集い 羽田

03 / 01 (火) 北里大学病院腎臓内科科長竹内教授訪問・打合せ 工藤、羽田

03 / 05 (土) れんきょう研修会「連協カフェしゃべり場」 小久保、江口

03 / 05 (土) さがみはら健康づくり会議健康講演会スタッフ勤務 工藤

以上



災害関連情報

全腎協災害対策委員会 壁新聞 3月号より

透析患者の災害時の食事のポイント

災害時に透析患者さんが注意する点は、特に塩分、カリウム、リン、水分です。

これらを摂り過ぎにならないようにしたいのですが、災害時に配布される食品はパン、カップ麺、おにぎり、バナナなどが多い場合が多くあり、塩分、カリウム、リン、水分を摂り過ぎてしまう恐れがあります。少しの工夫でこれらの摂取を以下のような方法で調整することができます。

- ① **カップ麺の戻したお湯は捨て、粉末スープも半分だけ入れて焼きそば風にして食べる。**

⇒戻したお湯に含まれるリンとスープの塩分や水分摂取が抑えられます。

- ② **支給される飲み物で一番良いのは水です。**

飲料水の目安は一日 300 から 400ml です。

⇒ほかの飲み物だと以下のカリウム量。緑茶、ウーロン茶は 500ml で約 50 から 75g

- ③ **カロリーの高いものを食べる。**

⇒災害時に支給される菓子パンなどはカロリーが高いものが多いので食べる。

例・あんぱん 254kcal、ジャムパン 297kcal 2つとも 100g 計算

- ④ **食品成分表示のナトリウムの換算式を覚えておく。**

⇒食塩は、塩化ナトリウムで構成されているので成分表示がナトリウム表記になっています。

ナトリウム (g) × 2.54 ÷ 1000 = 食塩 (g)・・・換算式です

- ⑤ **しっかり食べて十分なカロリーを摂る。**

⇒食事を摂らずにカロリー不足になると逆にカリウムが上がります。

栄養不足になると体内の細胞内が破壊され、カリウムが増えるのです。

ワンポイント

災害時、障害者手帳、服薬内容がわかるお薬手帳、検査データ等が記載された災害手帳や災害透析患者カードを活用して下さい。ただし病院によっては災害手帳や透析患者カードが無い病院もあります。確認が必要です。

新規入会者のご紹介

順不同

【会員】

小川 修武 様 地域医療機構相模野病院
三浦 武 様 森下記念病院
半澤 昌後 様 相模原クリニック
中里 浩巳 様 相模原クリニック

【賛助会員】

中里 暉久江様 相模原クリニック

「青い鳥はがき」
ありがとうございます

飯澤 佳子 様 森下記念病院 12 枚

行事予定のお知らせ

第34回 相模原市腎友会定期総会

日時 平成28年5月29日(日)10時～
会場 あじさい会館6階第1第2展示室
催し物 予定中

第33回 医療・栄養講演会並びに懇談会

日時 平成28年7月3日(日)10時～
会場 市民会館3階第1大会議室

第61回 ふれあい会日帰り旅行

日時 平成28年7月17日(日)
行き先 山梨県 桃狩りと日帰り温泉